

## ワインの貯蔵

ワイン業者は、投資商品としてのワインの品質を確実に保てるように、信頼のおける貯蔵施設にワインを保管しておくことがあります。香港政府の協力の下、業界と香港品質保証局は2009年12月、必要基準を満たす貯蔵施設の認証制度を立ち上げました。現在、この制度の対象は、小売・消費部門や輸送部門にも広がっています。



## 人材育成とワイン教育

香港の公的・民間訓練機関は海外の機関との協力を強め、ワイン関連ビジネスに携わる人材の育成プログラムを作成してきました。より多くの教材が、中国語に翻訳されています。



## 偽ワインの摘発

香港税関は絶えず偽造行為に目を光らせています。香港への偽ワインの流入を防ぐため、税関職員が継続的にリスク評価を行い、必要に応じて各入地点で輸入ワインの検査を実施しています。

香港税関はまた、業界と協力関係を結ぶとともに海外の執行機関との連絡を強化し、偽ワインに関する迅速な情報交換を促し、偽ワインの輸出入や販売の防止を図っています。



## 貿易パートナーとの協力

香港は、フランス（およびそのボルドー地方とバーガンディ地方）、スペイン、オーストラリア、イタリア、ハンガリー、ニュージーランド、アメリカ（およびそのワシントン州とオレゴン州）、ポルトガル、チリ、ドイツを含む主要ワイン生産国・地域と協力協定を結び、ワイン関連の貿易、観光、投資に加えて、ワインテイスティングや教育、偽ワイン対策などにおいて、PR活動を強化しています。

## ワイン関税撤廃に対する市場の反応

ワイン輸入：ワイン輸入額は2008年に3億6,700万米ドル（前年比80%増）、2009年に5億1,900万米ドル（同41%増）、2010年に8億9,800万米ドル（同73%増）、2011年には12億米ドル（同40%増）に達しました。

新規企業：ワイン商、流通業者、小売業者、オークション会社、貯蔵業者、ワイナリーなど、何百社にも上るワイン関連企業が香港で事業を立ち上げたり、拡大したりしています。

ワインオークション：国際的なオークション会社が、すでに香港で複数回のワインオークションを開催しています。香港は、ニューヨーク、ロンドンと並ぶ世界三大ワインオークションセンターの一つとして、その地位を確固たるものとししました。2011年の売上総額は2億2,900万米ドルに上り、業界によれば、香港は同年も引き続きトップの座を占めました。

## 連絡先

- ・商務経済発展省  
Commerce and Economic Development Bureau  
<http://www.wine.gov.hk>  
Tel: (852) 3655 5170  
E-mail: citbenq@cedb.gov.hk（英語・中国語に対応）
- ・香港特別行政区政府駐東京経済貿易代表部  
<http://www.hketoty.gov.hk>  
Tel: 03-3556-8980  
E-mail: tokyo\_enquiry@hketoty.gov.hk
- ・香港投資推進局（インベスト香港）  
<http://www.investhk.gov.hk>  
Tel: 03-3556-8961  
E-mail: enq@InvestHK.gov.hk
- ・香港貿易發展局  
<http://www.hktdc.com>  
Tel: 03-5210-5850  
E-mail: tokyo.office@hktdc.org
- ・香港政府観光局  
<http://www.discoverhongkong.com/jpn>  
Tel: 03-5219-8288  
E-mail: tyowwo@hktb.com
- ・香港品質保証局  
Hong Kong Quality Assurance Agency  
<http://www.hkqaa.org>  
Tel: (852) 2202 9111  
E-mail: hkqaa@hkqaa.org（英語・中国語に対応）

香港特別行政区政府広報局デザイン

2012年11月



# 香港 - アジアにおける ワイン取引 と 流通のハブ



## 香港 — アジアにおけるワイン取引と流通のハブ

香港はアジアにおけるワイン取引・流通のハブとして、業界に認知されています。2008年2月にワインへの関税が撤廃されて以来、ワイン商たちはこの機をとらえて出荷を増やし、香港での存在感を増してきました。ワイン業界のさまざまな部門の企業がアジア、特に中国本土の巨大な潜在市場の栓を抜こうとしています。中国本土は業界から、これからの10年間またそれ以降にわたって、世界のワイン販売の牽引役になると見られています。



### なぜ香港なのか？

#### ワイン関税の撤廃

香港は2008年2月、ワインへの関税をすべて撤廃。付加価値税(VAT)も物品サービス税(GST)も課せられない香港は、世界の主要経済では初のワインに関するフリーポートとなりました。

#### 関税関連の事務手続きは一切不要

香港は、ワインについてのすべての関税関連の税関・管理規制を2008年6月に撤廃しました。そのため、煩雑な手続きなしに、ゼロ関税でワインの輸出入が行えます。

#### 中国本土市場に隣接

好調な経済に後押しされ、さらなる繁栄を遂げる中国本土では、ライフスタイルも変化。それが大きなワイン需要につながっています。中国への国際的なゲートウェイである香港は、この流れを最大限に活用できる絶好の位置にあります。

2011年に香港を訪れた4,190万人のうち、2,810万人が本土からの来訪者でした。彼らは香港で世界各地のワインを直に試し、購入しているのです。

#### ワイン貿易の実績

ワイン貿易において40年以上にわたる経験を持つ香港は、ワイン産業についての深い知識、またブドウ園やワイン産地との必要なネットワークを有しています。



#### アジア料理とワインのペアリングへの理解

アジア人の飲食の好みを分かっている香港。アジア料理とワインのペアリングを行う場所としても最適です。

#### 中立性

香港は長年にわたり、世界各地のワインを喜んで受け入れてきました。ワインの取引や振興における香港の中立性は広く認められています。

#### バイリンガルな環境

香港では、中国語と英語に堪能で経験豊かなプロの人材が豊富で、バイリンガルなビジネス環境が整っています。情報は当然のこととして、中国語と英語の両方で提供されます。



#### 基本的な強み

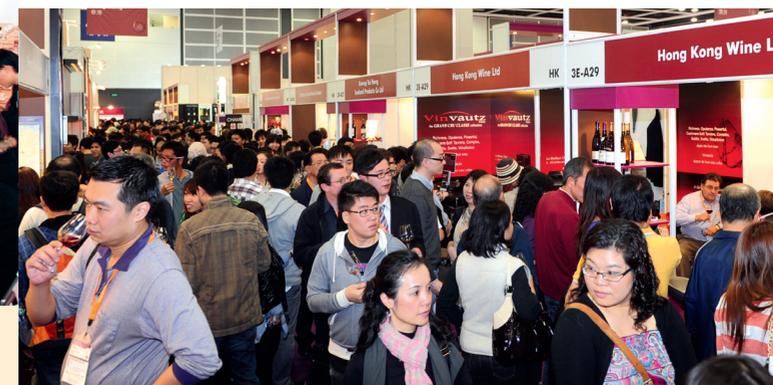
世界との接続性、国際ビジネス・金融センターとしての確固たる基盤、自由な経済、低率で簡素な税制、またクリーンで効率的な政府をあわせ持つ香港は、ワイン関連ビジネスを展開するための強力な拠点となっています。



## 支援策

### 中国本土へのワイン輸出の円滑化

2010年6月から、中国本土の税関当局とともに、香港からのワイン輸出の円滑化措置を開始しました。これらの措置には、ワインの事前査定や、本土の港で通関にかかる時間の短縮などが含まれます。これらは深圳で実施されています。



### 香港産ワインの中国本土への輸入関税を撤廃

香港で製造されたワインについては、2011年1月より香港-中国本土間の経済貿易緊密化協定(CEPA)の下、本土への輸入に際する輸入関税が撤廃されました。

### PR活動

香港政府は、香港貿易発展局、香港投資推進局(インベスト香港)、香港政府観光局など諸機関の戦略を同時に進め、ワインの取引、流通を振興しています。

香港での主要PRイベントとしては、Vinexpo(世界ワイン博覧会)、また“香港産”の香港インターナショナル・ワイン&スピリッツ・フェアやワイン&ダイニング・フェスティバルといった国際的なワイン見本市や移動展示会があります。